

# 「CT検診」投稿規定

## 1. 投稿資格

本誌への投稿は主著者が本学会会員であるか、投稿料を納められるものに限る。

## 2. 投稿原稿の採否

投稿論文に対しては複数の委員による査読を行い、編集委員会において最終的に採否を決定する。

## 3. 論文の種類

原稿は、CT検診に関するもので、下記の種類に分類する。

- a) 原 著：他誌に発表されていない知見を有し、原著にする意義があると著者が判断する論文。
- b) 速 報：他誌に発表されていない知見を有し、速報する意義があると著者が判断する論文。
- c) 技 術：他誌に発表されていない知見を有する技術論文。
- d) 症例報告：CTでの検診に関連した興味ある症例の紹介で、他誌に報告されていないもの。
- e) 特 集：決められた主題に基づき執筆される編集委員会からの依頼論文。
- f) 総 説：既に他誌へ原著として投稿した論文に関連した内容の論文。他誌へ掲載した図表などを転載する場合には、掲載誌の編集委員長の許可が必要となる。
- g) 資 料：研究、技術および症例に関する資料・調査結果など。
- h) 報告・意見：当研究会関連部会・委員会報告、本研究会活動全般および本誌掲載論文に対する意見や批評。
- i) そ の 他：上記に分類できないもので、編集委員会が必要と認めたもの。

## 4. 記載の形式

- a) 原稿は和文または英文とし、A4版、横書きとする。本文は、和文、英文とも1段組とする。  
原稿の記述は、希望する種類、標題、著者氏名、所属、和文要旨（400字以内）、和文キーワード（5語以内）、英文標題、ローマ字著者氏名、英文所属、英文要旨（200語以内）、英文キーワード（英文5語以内）、本文、文献、図の説明とする。ただし、症例、資料、報告・意見については、要旨・キーワードは省略できる。
- b) 図・写真はA4版を越えないようにし、図表の枚数は、必要以上に多くせず、本文分量に適度に合ったものとする。図表の説明は英文 (Fig.1..., Table 1...) とする。
- c) 引用文献は本文に引用された順に [1], [2], [3] ... と番号をつけ、末尾の文献の項に一括して記載する。  
原著は30以内、速報および症例報告は15以内とするが、総説、その他に関しては著者の判断に任せる。
- d) 引用文献の記載方法  
雑誌の場合、著者名（3名以内は全員、それ以上の場合4名以降は他または et al）：論文名、雑誌名（欧文はイタリック） 発行年（西暦）；巻数：頁-頁。  
[例] 飯沼 武、館野之男、松本 徹、他：肺癌検診用CT (LSCT) の基本構想とその事前評価. 日医放会誌 1992; 52: 182-190  
[例] Kaneko M, Eguchi K, Ohmatsu H, et al: Peripheral lung cancer; screening and detection with low-dose spiral CT versus radiography. Radiology 1996; 201: 798-801  
単行本の場合、和書：著者：題名、編集者（または監修者）、書名、版数、発行地：発行所；年号（西暦）：掲載頁。洋書：Authors' last names and initials: Chapter title. Editor' s name. Book title (Italic) . Edition. Publisher, City, Year: Pages.  
[例] 柿沼龍太郎：第4章 画像診断 1. ヘリカルCT肺癌検診の画像診断、末舛恵一、先端医療シリーズ20・癌 肺癌の最新医療、初版、東京：先端医療技術研究所；2003: 101-104  
[例] Press WH, Flannery BP, Teukolsky SA et al: Numerical recipe in C. Cambridge University Press, Cambridge, 1988: 10-24  
[例] 胸部CT検診研究会：http://www.thoracic-CT-screening.org  
(ホームページのアドレスを掲載する場合、時間がたつと、そのページがなくなってしまうことが多いので、著者がそのページのファイルを保存できる場合のみ引用可能とする。)

## 5. 投稿方法

- a) 初回投稿は、本学会ホームページ投稿原稿見本に従って作成した原稿と投稿原稿表紙、および電子ファイルを本会事務局へe-mailで送付する。データが10M以上と大きい場合には、USBメモリーまたはCDに入れて下記住所に送付する。
- b) 査読後に掲載許可の出た論文も、同様に送付する。

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-11-15 UEDAビル6F 株式会社クバプロ内  
特定非営利活動法人 日本CT検診学会事務局編集担当  
TEL：03-3238-1689 FAX：03-3238-1837 e-mail: jscts-kaisi@kuba.jp

## 6. 著作権

本誌掲載の論文の著作権は日本CT検診学会に帰属する。著者は、本学会事務局から折り返し送付される著作権に関する「誓約書」に必要事項を記入の上、本学会へ提出するものとする。

## 7. 校正

投稿原稿は、査読終了後掲載の承諾を得たのち、レイアウトした校正を著者にメールで送り、校正後、返却する。著者校正は原則としてこの1回とする。

## 8. 利益相反について

本学会の利益相反規定にしたがい、記載の義務が生じるものとする。利益相反がない場合には、論文の末尾、謝辞または文献の前に、「申告すべき利益相反はありません」などのように記載する。

## 9. その他

本学会会員の職種は医療関係者、工学研究者、医療機器メーカー研究者等と多岐にわたるので、専門用語や略語はできるだけ避け、使用する場合には必要に応じて簡単な説明を加えること。